

「つゆくさ」は、障がい者を雇用して就労を支援している社会福祉法人の事業所で、本市の方も雇用されており、昨年の10月から試験的に分別作業に従事していたところ、良好な結果を得ることができましたので、障がい者の自立を積極的に支援する上からも実施に踏み切ることとしたものであります。

また、平成21年度から障害児(者)育成会で開催している「トランポリン教室」に加えて、平成22年度は、市民温水プールでの「水泳教室」も実施し、日頃、運動の機会が少なく余暇活動に制約のある障がい児等の、健康の増進と体力づくりを支援してまいります。

「助け合い、支え合い、みんなが笑顔で暮らせるまち」をめざしている「地域福祉計画」につきましても、現在の計画期間が最終年度を迎えることから、平成22年度には、これまでの成果の評価と今後の課題の解決に向けて見直しを行い、幅広い市民の皆様のご意見等を踏まえながら、新たな計画の策定に取り組みます。

さらに、増加傾向が著しいうつ病など精神疾患への理解を深めるため、講演会を開催するなど、こころの健康づくりにも力を入れ、精神障がい者の方への

支援を含め、精神保健福祉への対策を進めてまいります。

高齢者福祉の充実

お年寄りの方が、いつまでも健康で自立した生活を継続することをめざし、特に介護予防の充実を図ってまいります。

「認知症予防教室」につきましては、未実施だった地区も体制が整い、平成22年度には、市内の小学校区全地区で開催することとしております。既に実施している各地区では、参加者が認知症予防に取り組むとともに、地域で認知症高齢者を支える自主活動サークルもできており、これらのサークルに対して、今後も継続して支援をしながら、認知症予防のまちづくりを進めてまいります。



認知症予防市民大会 (H 22. 3. 6)

また、自宅に閉じこもりがちなお年寄りにとって、地域での貴重な交流の場となっている「高齢者ふれあいの家事業」は、地域のボランティアの協力により、高齢者の皆様に楽しく過ごしていただいております。今後も、地域と高齢者のふれあいの輪をさらに拡げていくよう、地域と協働して事業充実に取り組んでまいります。

このほか、「介護予防筋力向上トレーニング事業」では、個人の体力にあったコースを設けることにより、参加者が選択しやすい事業内容としておりますが、平成22年度からは、一部のコースを老人福祉センターで実施することによって、センターの利用拡大も図ってまいります。

市民の健康づくり

市民の健康意識を高め、自ら正しい生活習慣を身につけていただくため、健康教室などの取り組みを促進するとともに、各種検診の実施により、市民の健康増進を図ってまいります。

中でも、平成21年度、特定年齢の女性を対象に、乳がんと子宮頸がんの無料検診を実施した「女性特有のがん検診推進事業」につきましては、平成22年度も継続して取り組むこととし

ております。

また、がん検診の受診率向上対策として、従来から行っている受診券の個別送付や休日検診の実施などに加え、がんが発症しやすいとされる年齢層を中心に、様々な方法で受診勧奨を行うことで、より多くの方を受診に結びつけ、疾病の早期発見・早期治療に努めてまいります。

新型インフルエンザ対策につきましては、流行のピークは過ぎましたが、今後も気を緩めることなく、関係機関と連携して、感染状況の把握や予防策の周知啓発などに努めてまいります。

可決された主な議案

平成22年度予算

一般会計が129億5千万円で、前年度に比べ5・1%の増となっておりです。

また、特別会計を含めました全会計では、前年度に比べ0・2%減の222億2,319万4千円となっております。

※概要については、別冊「境港市の予算」をご覧ください。

平成21年度予算

■一般会計補正予算

《歳出》

【議会費】

新たに2名の議員が選出されたことに伴う議員報酬等の人件費29万円余を増額。

【総務費】

退職者の増による退職手当2,106万円余、夕日ヶ丘分譲地の定期借地契約の締結に伴い、境港市土地開発公社から用地を取得するための経費2,856万円余、基金への積立金として、ふるさと納税としていただいた指定寄附金を「魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金」へ317万円余、決算見込みに基づき「財政調整基金」へ3億1,331万円余、障がい者自立支援給付費など、過年度に国・県から受けた負担金や補助金の精算に伴う返還金1,295万円余などをそれぞれ増額。



住宅の建設が進み自治会も発足する夕日ヶ丘2丁目